

令和3年度 環境人材育成教育プログラム 授業計画

令和3年4月

(注) コロナ感染の状況等により授業計画を変更することがあります。

【学域／副専攻「環境学」】

環境・生命・倫理 前期木曜4コマ／教室:B3棟118室			
回	月 日	テ ー マ	担当
1	4月8日	イントロダクション	大塚 耕司
2	4月15日	サヘル地域における「砂漠化」言説の構築とその帰結	宮脇 幸生
3	4月22日	アフリカにおける環境思想と環境倫理	宮脇 幸生
4	5月6日	女性性器切除廃絶運動と草の根の抵抗	宮脇 幸生
5	5月13日	NGOは命と環境の守護者になることはできるのか？	宮脇 幸生
6	5月20日	エチオピアにおける土地収奪と牧畜民の対応	宮脇 幸生
7	5月27日	「長期脳死」問題が明らかにした「生命と死」をめぐる臓器移植の問題	山崎 真也
8	6月3日	体外受精が開示した親子問題、生殖の脱セックス化と商品化の問題1	山崎 真也
9	6月10日	体外受精が開示した親子問題、生殖の脱セックス化と商品化の問題2	山崎 真也
10	6月17日	再生医学研究（クローン技術等）の研究倫理の問題1	山崎 真也
11	6月24日	再生医学研究（クローン技術等）の研究倫理の問題2	山崎 真也
12	7月1日	「環境」とは何か？①—環境概念と環境主義の成立	上楠 崇英
13	7月8日	「環境」とは何か？②—環境主義における四つの精神	上楠 崇英
14	7月15日	「持続可能性」とは何か？①—持続可能性概念と『成長の限界』	上楠 崇英
15	7月22日	「持続可能性」とは何か？②—持続可能性と現代社会	上楠 崇英
16	7月29日	地球温暖化が引き起こしている諸問題	大塚 耕司

環境学と社会科学への招待 後期末4コマ／教室:B3棟117室			
回	月 日	テ ー マ	担当
1	9月30日	イントロダクション	遠藤 崇浩
2	10月7日	経済活動と環境	遠藤 崇浩
3	10月14日	日本の公害問題	遠藤 崇浩
4	10月21日	SGGs（持続可能な開発目標）	遠藤 崇浩
5	10月28日	環境法の基本的な考え方	(弁護士)
6	11月4日	環境保護と法政策	(弁護士)
7	11月11日	環境保護と裁判	(弁護士)
8	11月18日	経営と環境戦略	遠藤 崇浩 (大阪ガス)
9	11月25日	経営と持続可能性	遠藤 崇浩 (大阪ガス)
10	12月2日	企業の社会的責任	遠藤 崇浩 (大阪ガス)
11	12月9日	市場経済と生産の効率性	天島 華織
12	12月16日	外部経済とは何か	天島 華織
13	12月23日	共有資源の特質と市場の失敗	天島 華織
14	1月13日	暮らしとの関わりから環境を考える	藤田 渡
15	1月20日	環境をめぐるさまざまな知識	藤田 渡
16	1月27日	環境をめぐる政治	藤田 渡

自然環境学概論 後期末5コマ／教室:B3棟117室				
回	月 日	テ ー マ	担当	
1	9月30日	人間活動と環境への影響①	地球の自然と環境問題、講義の導入	横山 良平
2	10月7日	自然環境と生態系①	生態系の概念	今西 統一
3	10月14日		地球環境の化学	竹中 規訓
4	10月21日	人間活動と環境への影響②	手付かずの自然—南極の科学	竹中 規訓
5	10月28日		自然エネルギーの発生と利用	横山 良平
6	11月4日		生態系の機能と遷移	平井 規央
7	11月11日	環境修復と自然再生	生物多様性とその危機要因	平井 規央
8	11月18日		生物多様性のモニタリングと保全	平井 規央
9	11月25日	持続可能性と循環型社会	産業活動と資源循環	徳本 勇人
10	12月2日		都市と物質循環	徳本 勇人
11	12月9日		生態系における物質循環	遠藤 良輔
12	12月16日	自然環境と生態系②	生態系の現状と保全	藤原 宣夫
13	12月23日		バイオマスの利用	遠藤 良輔
14	1月13日	人間活動と環境への影響③	地表面のエネルギーバランス	木下 進一
15	1月20日		都市熱環境の改善対策	木下 進一

地域環境活動演習 通年 割外				
回	月 日	テ ー マ	担当	
1	4月17日	環境活動の重要性	環境教育・環境学習の重要性について講義する。	大塚 耕司
2		グループ分け	1グループ4～10名で構成されるグループに分ける（6グループ程度を想定）	大塚 耕司 遠藤 規央 平井 昇平 後藤 清史 北田 博昭 山本 博也
3	環境活動企画	グループごとに環境活動の目的や実践方法について企画する。		
4	環境活動計画	グループごとに環境活動の具体的な内容や運営方法について計画する。		
5	環境活動実践（他機関との調整）	グループごとに連携協力機関との調整等を行う。	大塚 耕司 遠藤 規央 平井 昇平 後藤 清史 北田 博昭 山本 博也	
6				
7	環境活動実践（活動の実施）	グループごとに環境活動を実施する。		
8				
9	環境活動成果のまとめ	グループごとに環境活動の成果について取りまとめる。		
10				
11	環境活動成果発表準備	グループごとに環境活動の成果発表（プレゼンテーション）の準備を行う。		
12				
13	環境活動成果発表会	グループごとに環境活動の成果発表（プレゼンテーション）を行う。また、ポトフォリオを提出する。		
14				
15	最終報告提出	活動報告書を提出する。		大塚 耕司

4月17日(土)、12月11日(土)の教室はA6棟303(ラーニングcommons)

【大学院／「国際環境活動プログラム」】

国際環境学特論 前期木3コマ／A6棟303室				
回	月 日	テ ー マ	担当	
1	4月8日	オリエンテーション	大塚 耕司	
2	4月15日	アジアの感染症	山崎 伸二	
3	4月22日	暮らしの変化と環境問題	中村 治	
4	5月6日	補 講	北田 博昭 山本 達也	
5	5月13日	ワークショップ1	北田 博昭 山本 達也	
6	5月20日	ワークショップ2	北田 博昭 山本 達也	
7	5月27日	気候変動対策と開発協力	大塚 耕司 (IICA)	
8	6月3日	アジア諸国の環境問題と日本の関わり	日本における自然観と植林事業、国家イメージや国家間の偏見	杉山 雅夫
9	6月10日	日本とアジアにおける市場経済の結び付き、グローバルな影響と資源配分	杉山 雅夫	
10	6月17日	国際的な環境問題における環境行政の役割	大塚 耕司 (府立環農水研)	
11	6月24日	ワークショップ1	大塚 耕司 (府立環農水研)	
12	7月1日	ワークショップ2	大塚 耕司 (府立環農水研)	
13	7月8日	国際的な環境問題とその解決に向けた企業の取り組み	大塚 耕司 (関西電力)	
14	7月15日	ワークショップ	大塚 耕司 (関西電力)	
15	7月22日	環境問題への教育的アプローチとその国際的潮流	環境教育からESDへ／実践！体験！ESD (ワークショップ1)	若林 身歌
16	7月29日	実践！体験！ESD (ワークショップ2)	若林 身歌	

環境コミュニケーション特論 後期 火3コマ／A5棟306教室				
回	月 日	テ ー マ	担当	
1	9月28日	講義ガイダンスおよびイントロダクション	竹中 規訓	
2	10月5日	基礎コミュニケーション英語と環境英語	竹中 規訓	
3	10月12日	環境に関する基礎英語	コミュニケーション英語	竹中 規訓
4	10月19日	環境英語の聞き取りと英語でのディスカッション	竹中 規訓	
5	10月26日	ベトナム語会話入門1	吉本 康子	
6	11月9日	ベトナム語会話入門2	吉本 康子	
7	11月16日	ベトナムの歴史と文化、言語	吉本 康子	
8	11月30日	ベトナムの歴史と文化	吉本 康子	
9	12月7日	ベトナムの対外関係と日本	吉本 康子	
10	12月14日	ベトナムにおける大気汚染及び水質汚濁の現状	竹中 規訓	
11	12月21日	ベトナムおよび周辺国の環境問題	ベトナム小中学生への環境教育	大塚 耕司
12	12月28日	東南アジアの環境問題	竹中 規訓	
13	1月11日	模擬環境保護活動演習1	竹中 規訓	
14	1月18日	模擬環境保護活動演習2	竹中 規訓	
15	1月25日	発表準備	竹中 規訓	
16	2月1日	発表会	竹中 規訓	

国際環境活動特別演習 通年 割外				
回	月 日	テ ー マ	担当	
1	4月24日	環境活動の重要性	国際環境教育・環境学習の重要性について講義する。	大塚 耕司
2		グループ分け	1グループ4～5名で構成されるグループに分ける（2グループ程度を想定）	大塚 耕司 竹中 規訓
3	環境活動企画	グループごとに環境活動の目的や実践方法について企画する。		
4	環境活動計画	グループごとに環境活動の具体的な内容や運営方法について計画する。		
5	環境活動実践（他機関との調整）	グループごとに連携協力機関との調整等を行う。		
6				
7	環境活動実践（活動の実施）	グループごとに環境活動を実施する。		
8				
9	環境活動成果のまとめ	グループごとに環境活動の成果について取りまとめる。		
10				
11	環境活動成果発表準備	グループごとに環境活動の成果発表（プレゼンテーション）の準備を行う。		
12				
13	環境活動成果発表会	グループごとに環境活動の成果発表（プレゼンテーション）を行う。また、ポトフォリオを提出する。		
14				
15	最終報告提出	活動報告書を提出する。	大塚 耕司	

4月24日(土)、12月11日(土)の教室はA6棟303(ラーニングcommons)